

深川東京 *fukagawa tokyo modankan news* モダン館だより

主催 ゴールデンウィーク企画展示

伊東さんの^{りんびょう}燐票

4月26日(火)～5月8日(日) 5月2日(月)休館日

江東区所蔵のマッチラベルアルバムコレクションを展示。個人コレクター“伊東さん”が昭和元年から約30年間にわたり収集したマッチラベル(燐票)を多数紹介。



入場無料



4月のカレンダー 催し物の詳細は2面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
				1	2 講談会	3
4 休館日	5 おきがる講座	6	7	8	9 コドモアソビ	10
11 休館日	12	13	14	15	16	17 ふかにこカフェ
18 休館日	19	20	21	22 おきがる講座	23	24
25 休館日	26 ~5/8 GW企画展示	27	28	29	30	

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19時まで)

喫茶にちようの営業日は <http://nichiyou.net/wp/> をご覧ください

4月の催し

共催

第9回

モダン

講談会

後援：日本講談協会

4月2日（土）14時半～

（開場14時）

春たけて心嬉しき講談会

予約開始：3月15日（火）から 定員60名に達し次第受付終了

神田 紅佳

ひとみ

神田 紫

（仲入り）

神田 山吹

神田 陽子

予約 2,500円 当日 2,800円

※お申込みはお電話 03-5639-1776

または info@fukagawatokyo.comまで

共催

ふかにこカフェ

「食、絵、歌」のプロが集結し「見て、触って、歌って、感じて、味わう」という新しいタイプの体験型紙芝居

4月17日（日）①11時～②13時半～

参加料 おとな1000円 こども500円

申込期間：4月5日（火）～

メール → fukanikocafe@gmail.com お電話 → 03-5639-1776

各回子供20人まで ※対象年齢0歳～小学生までです。

※お子様だけのご入場はできませんので保護者同伴でお越しください。

※大人には1ドリンク、お子様には素敵なおかしのプレゼントあり。



★参加アーティスト★

シンガーソングライター YUKKIY

イラストレーター Reap フードコーディネーターしらいのりこ and more...



主催

Salon de ふかがわ おきがる講座

コーヒー・お茶を飲みながら
江東区の歴史についてお話しします

4月5日（火）14時～15時半「深川三十三間堂の成立」[再]

4月22日（金）14時～15時半「葛西橋通り」

講師 龍澤 潤（深川東京モダン館）

両日とも 料 金500円（1ドリンク付）

予約不要・定員30名

主催

コドモアビ

4月9日（土）14時～16時

昔懐かしい「ベーゴマ」、折って楽しい「折り紙」。

コドモアソビ、してみませんか。

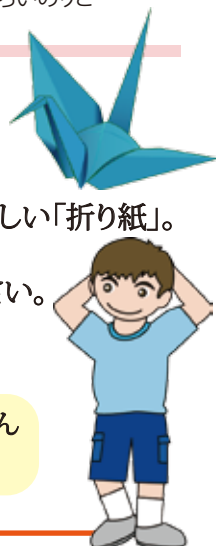
大人の方もぜひ遊びに来てください。

参加無料

教える人

ベーゴマ：鈴木祥元さん

折り紙：高橋勝美さん



5月の催し物ご予約情報 ふかがわの米講座「江戸※深川」

深川と米にまつわる講義と江戸時代の米レシピ「名飯部類」で紹介されているメニューをご賞味できます

5月14日（土）①11:00～②13:30～ 烹鳥飯（とりめし）

定員：各25人（申込順） 料金：1,500円 申込期間：4月26日（火）～

※お申込みはお電話 03-5639-1776 または info@fukagawatokyo.comまで



故郷は深川、音と匂いも懐かしく



生まれも育ちも深川……ですが、かつて「川向こう」と呼ばれて蔑まれていたとは露知らず、何かにつけては日本橋や浅草へ出かけ、門前仲町は日常の買い物だけ、富岡八幡宮へは初詣だけという地元知らずで過ごしてきました。高度成長期の中学生時代、隅田川の臭いを嗅ぎに、わざわざ学校帰りの都電を途中下車して、永代橋を歩いて渡り、そのあまりのひどさにかっかりしたのです。

そして、私の深川の記憶はさらに小さい頃に遡ります。家の後ろは赤レンガでできた大きな帝国倉庫。戦争の爆撃で屋根はすべて吹き飛び、中は子供の遊び場と化していました。堀（たぶん亀堀）に面していたため、倉庫内に入り堀が伸び、そこに架かる小さな鉄橋を駆けて渡ればドン、ドン、ドンという音が響きます。家との境にあった細い堀の上での鬼ごっこは平気のへいぞ。今も当時のままのレンガ堀の一部が残っており、100年近くの歳月を見守っているはずです。

そして、亀堀に架かっていた相生橋を渡れば、ちくま味噌の大きな工場がありました。その思い出はなんとも言えない大豆を蒸した臭いです。決して良い匂いではない、「今は昔」の臭いの記憶です。



今も残る帝国倉庫のレンガ堀

そして、縁日の夜はバナナの叩き売りが楽しみ。場所は定かではないのですが、八幡様の境内か、お不動様寄りの深川公園だったかと。叩き売りの口上は覚えていませんが、「〇〇円、いないか、いないか！」と値段を下げていくだみ声と、いい頃合いで間髪入れずに「よし、買った！」という父の声、このスリルあふれるやり取りが耳に残っています。

そしてあれから半世紀、あっという間に消えてしまった油堀や掘割、そして材木屋。一瞬にして出現した隅田川大橋や首都高速9号深川線。文化観光ガイドの勉強を始めて、かつての風景が深川の発展を支えていたことを知りました。家の近くのお大きなお屋敷、庭にドーベルマンを飼っていた家は「紅屋」、業祖が呂一官の柳屋の家族の家だったこともわかったのです。

住み続けている深川の良さを少しでもお伝えできたらと思うガイド4年目のこのごろです。



(文 江東区文化観光ガイド 守 幸子)

深川東京モダン館では、江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。 ※諸事情によりガイド不在の場合もございます。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『まちあるき観光ガイド』
- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター コトミちゃんグッズ各種
- ・江東区の名所を描いた絵はがき(水彩・切絵・写真)
- ・一筆箋各種
- ・Tシャツ、てぬぐい
- 江戸切子、ICカード入れ
- もくレース、甘酒、味噌
- 深川めしの素など

喫茶にちよう

深川東京モダン館2Fで不定期に営業している喫茶店です。美味しいコーヒーと米粉スイーツ、そしてきまぐれカレーランチをご用意して皆様のご来店をお待ちしております。

※<http://nichiyou.net/wp/>

営業時間：11 時半～

メニュー

- ・にちよう珈琲 300円
- ・にちよう紅茶 300円
- ・カレーランチ 800円～
- ・カレーセット 1000円～

百圓珈琲

深川東京モダン館 1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております（「喫茶にちよう」の営業日のうち土日をのぞく）。ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」の2種類をご用意しております。まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10：00～18：00（金・土曜日は19時まで）

休館日：月曜日

（月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります）



taranome

「深川東京モダン館だより」第42号（平成28年3月25日）

発行 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

